

その空き家 活かしてまちを活性化



空き家の増加は全国的な社会問題であり、その対策は急務となっています。うちや親族には空き家は関係ないし… そんなふうにお思いの方もいらっしゃると思います。しかし、空き家問題を解決するためには、地域の方々のつながりや協力が必要不可欠です。この特集では、地域の空き家問題解決のための取り組みや空き家を活用したまちの活性化事例をご紹介します。ぜひ、老朽化が進む前に空き家の活用について一緒に考えてみませんか？

空き家活用・売却の事例

空き家活用の事例

東京都から茅野市に移住 川口さん
川口さんは、現在、湖東笹原地区の空き家を購入し、改修して住んでいます。移住を検討し始めたのは、コロナ禍のリモートワークがきっかけだったとのこと。

以前から、古民家への憧れがあり、笹原地区の町並みが気に入ったことや、物件に畑が付いていることが決め手となり、空き家だった物件を購入し、茅野市に移住しました。空き家改修の際は、サッシを二重にし、床や天井にも断熱を施すなど、寒さ対策に力を入れたそうです。

また、改修には、市の空き家対策促進事業補助金が活用できたため、「ありがたかったです。」と話します。

「人がやさしく親切で、時間もゆつくりと流れている。畑仕事の後に、近所の方とお茶をするのが楽しい。」と茅野暮らしを満喫しています。



▲改修されたお宅は趣を残しながら、住み心地のいい物件になりました。

空き家売却の事例

千葉県在住で空き家を売却 野澤さん
野澤さんは、お父様がお住まいだった米沢地区の住宅を相続しました。しかし、近年は茅野市に来ることも難しくなり、空き家を維持管理していくことが困難になってきました。

そこで、空き家を手放すことを検討し始め、結果的に、茅野市役所に所属する地域おこし協力隊員の手引きのもと、空き家を売却することができました。

野澤さんは、「空き家バンクの案内が来たことをよい機会として、その趣旨に沿って空き家を手放すことを決断しました。空き家を手放したことで、移住希望者に喜んで使っていた良さが良かった。」と話します。



▲11月に開催された物件見学ツアーの様子。多くの人が空き家の活用に興味を持っています。

空き家を取り巻く現状

近年、人口減少により、市内でも空き家の増加が問題となっています。

隣近所に空き家があると、景観が損なわれるとともに、近隣の不動産の資産価値や地域の防犯性の低下を招くことに繋がります。

一方で、空き家の増加を逆手にとり、空き家に新たな移住者を呼び込み、地域の活性化に繋げようとする動きも出てきています。

このように、空き家は地域の解決しなければならぬ課題であると同時に、新たな活用資源としての可能性を秘めています。

空き家の課題と解決のために

市では、空き家所有者の方々に、今後の活用等に関するアンケートを送付し、放置されている空き家の活用を促していますが、ご返答がないケースも多いことが課題となっています。

今後、空き家の課題を解決するために重要な役割を担うのは、昔からの近所付き合いなどの地域の方々の繋がりで、例えば、近所にある空き家物件の所有者の方と連絡可能な方がいる場合、売却の可否を確認していただき、所有者同意のもと、その情報を市にご連絡いただければ、市から空き家バンクの案内などの働きかけをすることができます。地域と市が相互に連携していくこと

空き家の利活用に携わる方々の声

Interview

その決断が明るい未来に繋がります



茅野市移住相談協力店 納得住宅南信州 久村 周一 さん

茅野市は空き家の買い手になりやすい移住者に人気があります。空き家を手放すのは大きな決断が必要だと思いがすが、そこに新たな住まい手が見つかる、家屋が維持管理され、町並みも整い、地域にも人が増えてより明るい未来に繋がります。

暮らしやすさを求めて茅野市に注目が集まるこの時代に、ぜひ空き家バンクをご活用いただき、空き家を利活用してみませんか？

空き家バンクに登録してみませんか



茅野市地域おこし協力隊員 空き家担当 松尾 妙子 さん

茅野市の空き家バンクは、物件ごとに必要な基礎調査を無料で行い、所有者に寄り添ってヒアリングを行う等、よく配慮されたシステムだと思っています。

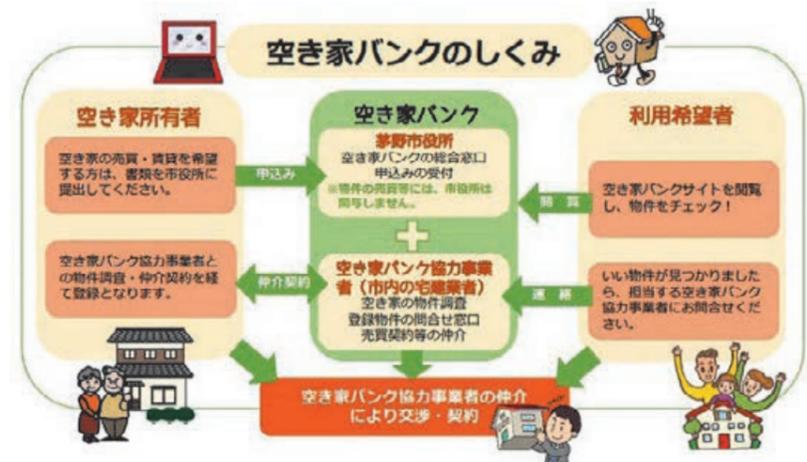
一度登録しても簡単に取っ下げることもできますので、今、迷われている方も、建物の老朽化が進んで売却や賃貸が難しくなる前に、ぜひ空き家バンクへの登録をお願いいたします。

で、空き家問題についても解決に向かう一歩を踏み出すことができます。

空き家バンクの活用について

空き家バンクとは、空き家を売りたい方や貸したい方に物件情報を登録していただき、空き家を買いたい方や借りた方に情報を提供する制度です。

市内の空き家流通を促進するため、令和7年1月に「茅野市空き家バンク」を開設しました。空き家の処分に迷われている方は、まずはご相談ください。



独自の取り組みで空き家問題に取り組む 地域発！空き家対策事例

地域だけ、市だけでは解決できないことも、相互連携して解決に向かうこともあります。このページでは、地域の空き家問題を解決し、まちを活性化する事例を紹介します。

新しい入区者を迎えるため 区独自の空き家相談会を開催！



宮川新井区 元区長
五味 哲哉 さん

宮川新井区では、空き家になっ
ている約10世帯から「火の番料」
として区費に準じた料金をお支
払いいただいているため、区内の
空き家についてほぼ全て把握し
ています。

そこで、空き家に新たな入区
者を迎え入れるため、空き家所
有者に意向を確認する目的で、
区独自のアンケートを実施し、
都市計画課や宅建協会と連携し
ながら、区独自の空き家相談会
を開催しました。
このような市との連携や区の働

きかけによって、老朽化した空
き家の解体作業が行われたり、
空き家が売買に出されたりする
など、区内で新たな動きが見ら
れるようになりました。

空き家所有者に区としてアク
ションを起こすことについて、令
和5年区長の五味さんは、「高齢
化も進み、今後空き家が増える
ことも予想される。空き家のま
までは防火・防災上も問題があ
るため、せつかく空いているのな
らば、新たな入区者を増やせれ
ば。」と話します。

区では、今年の「火の番料」の
お知らせの際にも、市の『空き
家なんでも相談会』のチラシを
同封するなど、市と連携して、
継続した空き家対策を実施して
います。

体験を通して笹原を知り移住してもらおうため 区内にある空き家を掘り起こす



笹原観光まちづくり協議会
武安 茂美 さん

武安さんは、笹原観光まちづ
くり協議会の事務局を務めてい
ます。協議会では、旅行者に対
して、歴史ある笹原のまちある
きや郷土料理作りなどの体験プ
ログラムを実施しています。旅を
通して笹原を知り好きになっ
て移住してもらおうという取り組
みを進めています。

また、区内にある空き家の所
有者に連絡をとり、売却可能な
空き家を掘り起こし、笹原への移
住希望者に紹介する取り組み
や、11月には市が開催した空き

家物件見学ツアーの開催にも協
力しています。

協議会が活動を始めた平成28
年から現在までに、約7組が移
住しており、最近も笹原に住み
たいという問合せが寄せられてい
ることです。

これまでの取り組みについて、
武安さんは、「空き家のみを目的
とするのではなく、地域の良さ
や悪いことも含めて知ってもらい
たい。住んでいる住民だからこ
そでできる取り組みです。」と話
します。

今後については、「再度、空き
家所有者に連絡をとり、売却可
能な空き家の掘り起こしや二ー
ズの高い貸家の発掘を行うこと
に、戸建て住宅を建てられる空
き地の調査も行いたい。」と語っ
てくれました。



▲笹原のありのままの姿を知ってもらうため、空き家物件と地域について紹介しています。



笹原観光まちづくり協議会
ホームページはこちら

～ 毎月開催！ 空き家無料相談 ～ 空き家なんでも相談会

「空き家のことが気になっているが、何から手を付けてよいかわからない」
「解体費用は高いというけど、うちの空き家は売れるのかな？」

こんなお悩みをお持ちの方は、まずはお申し込みを！ 各種専門家が相談員として親身にご相談をお受けします。

7月の相談会

- ▶日時 7月24日(木) 13時30分～15時20分(1組30分程度)
- ▶対象者 市内に空き家をお持ちの方
- ▶定員 9組
- ▶申込方法 7月10日(木)までに下記問合せ先まで電話でお申し込みください。
- ▶その他 申込時に空き家物件情報を確認させていただきます。



本特集でご紹介した空き家に関する事業や取組、その他空き家全般の詳しいことについては、下記問合せ先までお尋ねください。また、茅野市ホームページ(QRコード)の空き家サブサイトもご覧ください。

☎ 都市計画課 住宅係 ☎72-2101(内線538)



～ 空き家を活かせる！ 補助制度の紹介 ～ 茅野市空き家対策促進事業補助金

- ▶内容 増加傾向にある市内の空き家解消のため、以下の3つの補助金を実施しています。
- ▶対象 個人が所有する1年以上未使用の空き家
 - 空き家改修事業(補助率10%、上限25万円)
 - 空き家家財等処分事業(補助率50%、上限10万円)
 - 空き家解体事業(補助率10%、上限20万円)
- ▶申込方法 都市計画課または茅野市ホームページにある様式に記入し、必要書類を添付の上、都市計画課へご提出ください。
- ▶その他 交付決定を受けてからでない事業を実施することができません。

予算に限りがありますので、早めの申請をお願いします。空き家バンクに登録するための改修や家財等処分もOKです。



対象となるかの判断や詳細については、申請前に必ずお問い合わせください。